

スーパーごみ発電システムの廃止について

1 概 要

平成10年に皇后崎工場に導入したスーパーごみ発電システムを、平成28年度末に廃止する。今後は他の焼却工場と同様に、通常の廃棄物発電を継続する。

2 これまでの経過

- 平成 7年度 天然ガス購入費（年間5億円程度）明確化の為「廃棄物発電特別会計」を設置
- 平成10年度 スーパーごみ発電システム稼動開始
- 平成12年度 累積収支が黒字転換（初期投資を回収）
- 平成17年度 天然ガス価格高騰により単年度収支が赤字となる
- 平成20年度 赤字継続のため運転休止
- 平成25年度 耐用年数満了、公債償還終了
- 平成28年度 スーパーごみ発電システム廃止（予定）

3 廃止の理由

- 将来的に天然ガス価格が下がり、黒字収支になることが見込めない。
- 休止継続でも、保守費用（1,500万円/年）が必要である。
- 再稼動には、再設備投資（1.9億円程度）が必要である。
- 初期投資（7.8億円）は売電収入で回収できたほか、耐用年数は満了し公債償還も終了している。

4 今後の対応

経済産業省へ発電事業者の変更届を提出する。

～スーパーごみ発電システムとは～

廃棄物発電に使用する蒸気タービン発電機に、天然ガスを燃料とするガスタービン発電機を組み合わせた、複合発電システム。高効率発電となることで、二酸化炭素削減効果がある。